

給食施設状況報告書集計結果（概要）

令和4年7月鳥取県西部総合事務所米子保健所

特定かつ多数の者に対して継続的に食事を供給する施設のうち栄養管理が必要な施設等は、県に届出を行うことになっており、給食施設における栄養管理等の状況を把握するため、届出があった給食施設には、毎年6月1日時点の状況を報告するよう依頼しています。

令和4年度に提出された報告について、主な項目の栄養管理状況をまとめました。

鳥取県西部における給食施設の状況

○ 給食利用者のために非常食を備えている施設は119施設、全体の73%であった。

○ ほぼ全ての施設が利用者の状況（身体活動レベル，健康状態，食習慣等）を把握しており、利用者へ対しては、給食に関しての情報提供を常時行っているという結果であった。

[令和4年6月1日時点]

参考：給食施設の届出状況

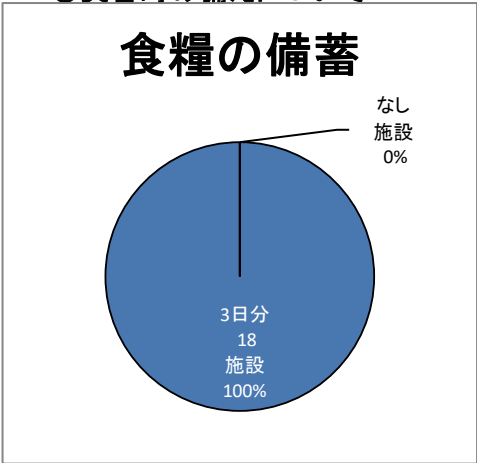
施設の種類 ※1	届出施設数	施設の種類 ※1	
		特定給食施設 ※2	その他の給食施設 ※3
学校	18	17	1
病院	18	15	3
介護老人保健施設	16	9	6
介護医療院	0	0	0
老人福祉施設	23	15	9
児童福祉施設	76	48	26
社会福祉施設	7	2	5
事業所	1	0	1
矯正施設	0	0	0
自衛隊	3	2	1
その他	2	1	1
合計	162	109	53

- ※1 令和2年度から以下の変更点があった。
- (1) 施設外で調理された弁当等を供給する施設であっても、当該施設の設置者が、当該施設を利用して食事の供給を受ける者に一定の食数を継続的に供給することを目的として、弁当業者等と契約している場合には給食施設の対象となる。

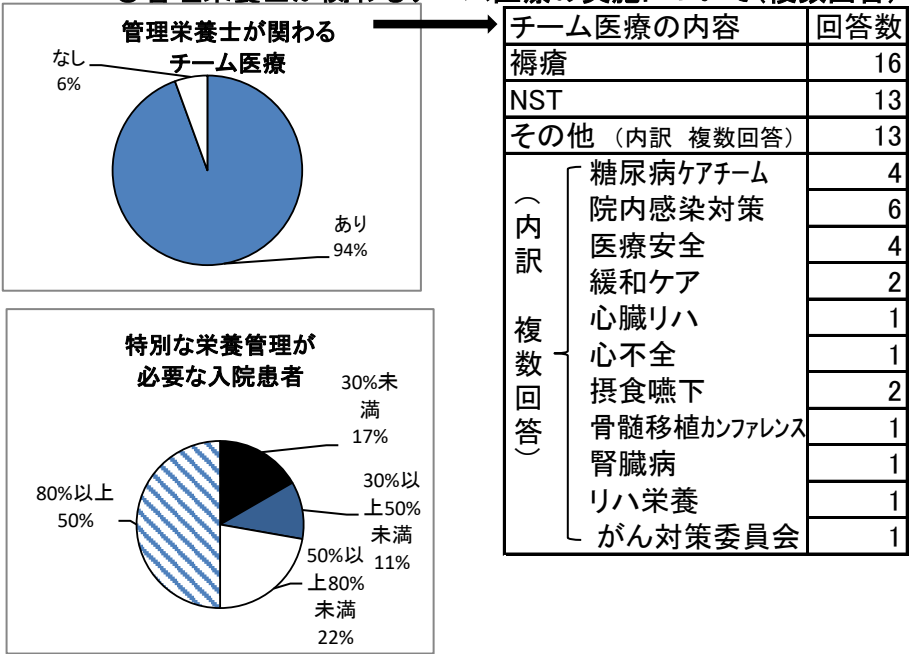
(2) 同一敷地内に施設の種類や利用者（特定給食施設を利用して食事の提供を受けるものをいう。）の特性が明らかに異なる施設が複数設置されている場合は、それぞれ別の給食施設として届出を行う。
ただし、複数の施設のうち、提供食数が1回50食未満または1日100食未満の施設については、給食施設を所有する施設と栄養管理の内容及び実務責任者が同一の場合、当該施設の給食を含めて届け出ることができる。

(3) 種類に介護医療院が追加された。
- ※2 特定かつ多数の者（1回100食以上又は1日250食以上）に対して継続的に食事を供給する施設のうち栄養管理が必要なものとして健康増進法施行規則（平成15年厚生労働省令第86号）第5条で定めるもの。
- ※3 特定かつ多数の者（概ね1回50食以上又は1日100食以上）に対して継続的に食事を供給する施設（特定給食施設を除く）。

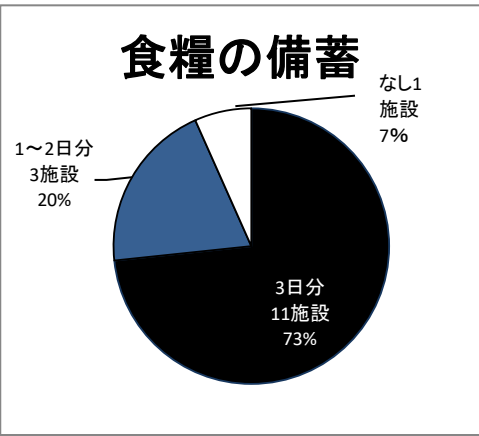
【病院】(対象施設 18施設)
◎災害時の備えについて



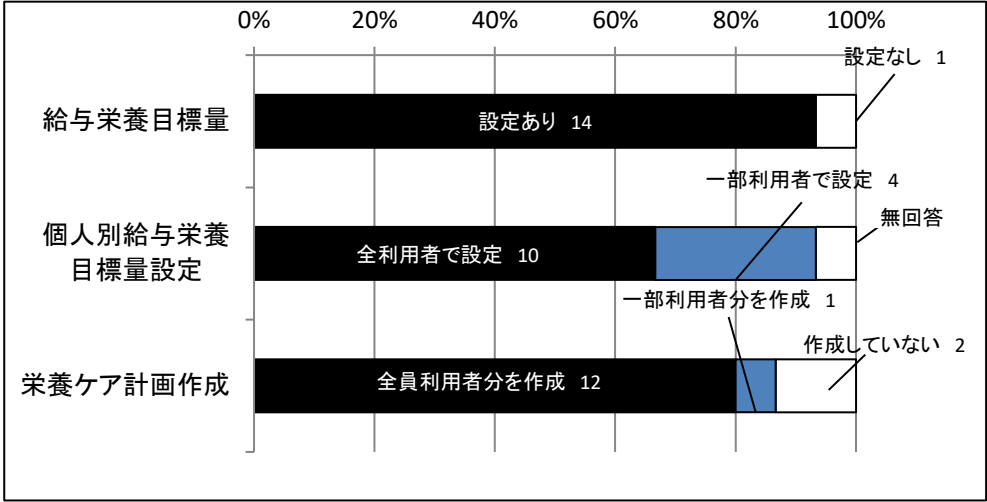
◎管理栄養士が関わるチーム医療の実施について(複数回答)



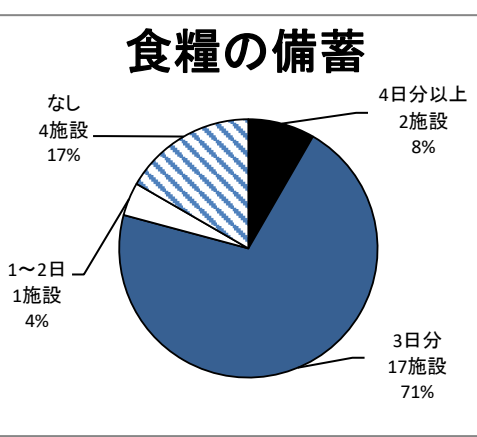
【介護老人保健施設】(対象施設 15施設)
◎災害時の備えについて



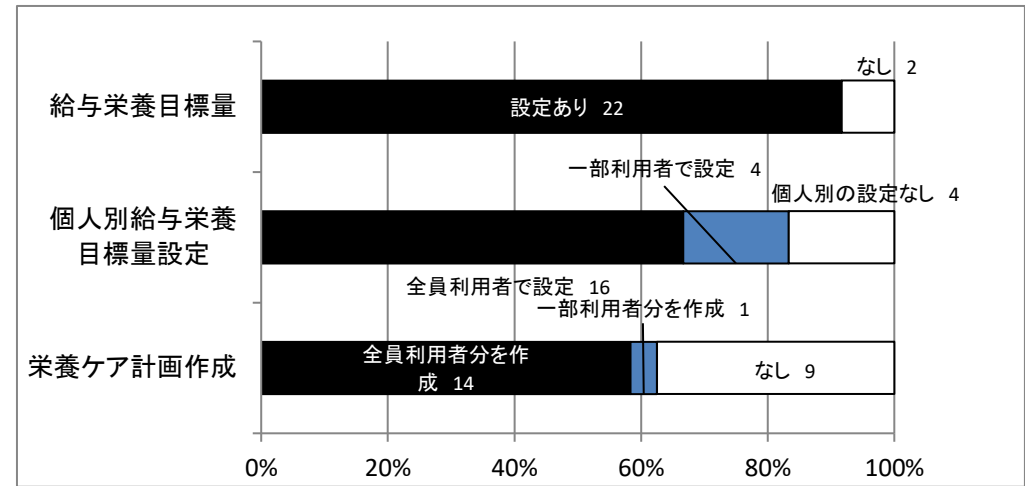
◎利用者の栄養管理状況



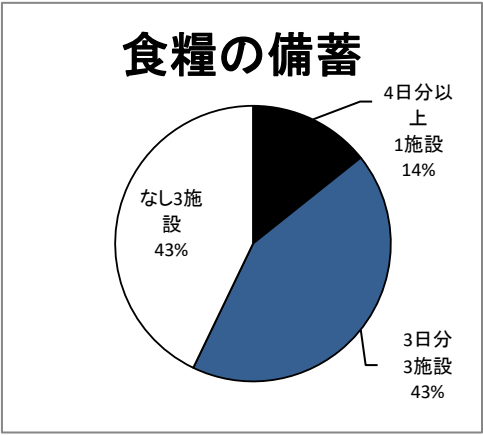
【老人福祉施設】(対象施設 24施設)
◎災害時の備えについて



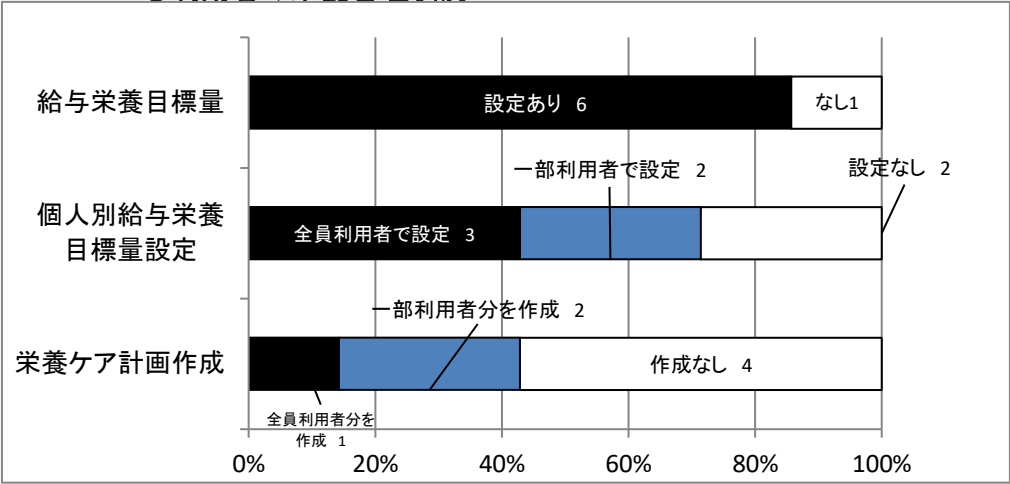
◎利用者の栄養管理状況



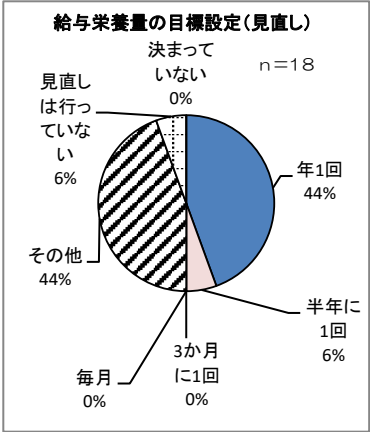
【社会福祉施設】（対象施設 7施設）
◎災害時の備えについて



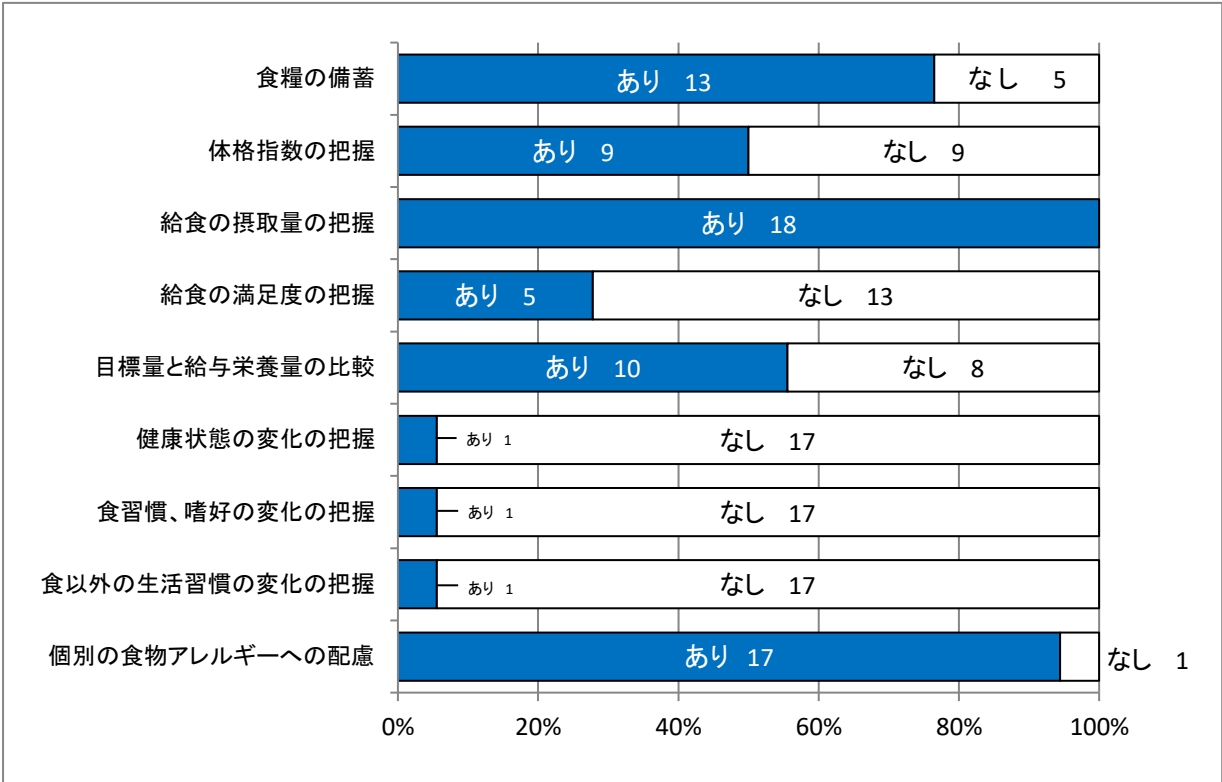
◎利用者の栄養管理状況



【学校・給食センター】（対象施設 18施設）
◎給与栄養量の定期的な見直し

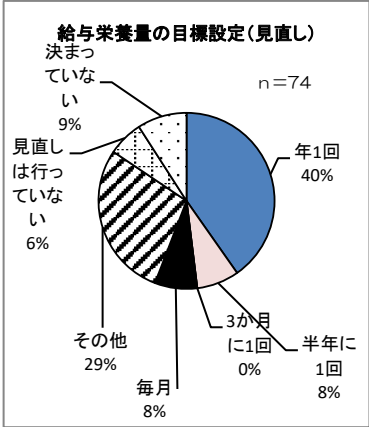


※その他の内訳…“文部科学省学校給食法に基づく設定:6件”, “学期に1回:2件”

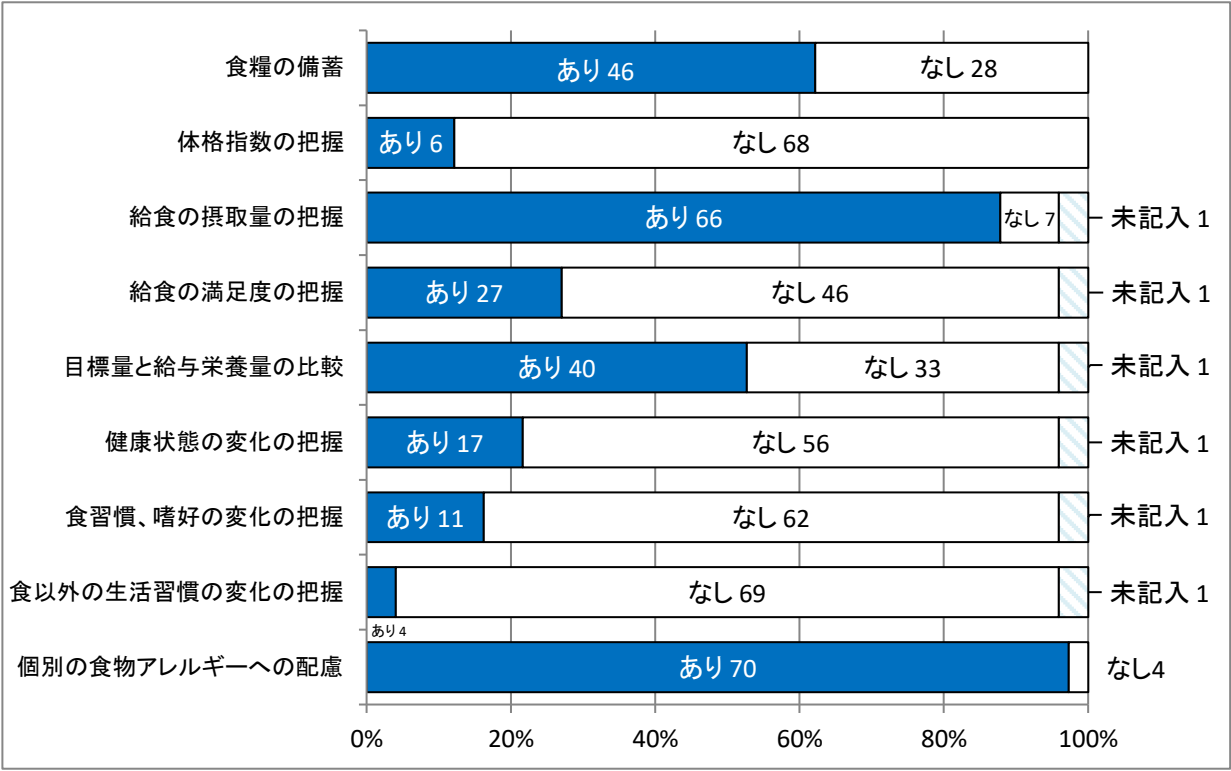


【保育所・幼稚園・認定こども園】（対象施設 74施設）

◎給与栄養量の定期的な見直し



※その他の内訳…“5年に1回:11件”, “3年に1回:3件”, “米子市に基づいて:6件”, “その他:2件”



【事業所・矯正施設・自衛隊・その他】（対象施設 6施設）

